



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

2016年



世界へのプレゼントになろう

クラブ会報・情報委員会

Be a gift to the world

R.I 会長 K.R. ラビンドラン

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原 勝 樹

会長 堀 明 幹事 桑原 志郎

園田誠・柳明彦・山崎一順・前原勝

7月4日号

第2988回例会 (6月13日(月)第2例会)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 委員会報告 |
| 2. ロータリーソング斉唱 | 8. 卓 話 「メディア雑感」 |
| 3. 来訪者紹介 | 朝日新聞 桐生支局長 |
| 4. 出席100%表彰 | 大道 裕宣 様 |
| 5. 会長の時間 | 9. 点 鐘 |
| 6. 幹事報告 | |

ようこそビジター

《卓 話 者》 朝日新聞 桐生支局長 大道 裕宣様 《桐生赤城 RC》 青少年交換カウンセラー 清水 洋君
《米山奨学生》 沈 軼驊 君 《青少年交換学生》 ルーカス・ウェブスター 君

出席100%表彰



金子 篤郎君 25回

員と 沈君が参加しました。

・6/12 第16回地区指導者研修会が群馬県庁にて開催されました。

《予 定》

・6/13 例会終了後次年度理事会が開催されます。理事・役員の出席をお願い致します。

・6/13 R 財団・米山奨学室、長期計画特別委員会、クラブ会報・情報委員会の家庭集会在美喜仁館にて開催されます。関係会員の出席をお願い致します。

・6/14 ルーカス君が飯塚会員宅から高橋会員宅へ引越します。飯塚会員お疲れ様でした。高橋会員宜しくお願い致します。

・6/16 会員増強・選考委員会の家庭集会在大龍にて開催されます。関係者の参加をお願い致します。

・6/18 地区補助金委員会の会議が伊勢崎プリオパレスにて開催され村田地区補助金委員が出席します。

・6/19 ゴルフ部の例会が開催されます。

・6/20 今年度の最終例会がたつ吉にて開催されます。大勢の参加をお願い致します。

会長の時間

《報 告》

- ・6/6 例会終了後第12会定例理事会が開催されました。今年度最後の理事会でしたが、審議も無事すみました。
- ・6/6 次年度奉仕プロジェクト室の家庭集会在 DAY'S DINING にて開催されました。
- ・6/7 次年度 会員組織強化室、雑誌・広報委員会の家庭集会在ミスティーにて開催されました。
- ・6/9 第2回家族会役員会がショコラノアにて開催されました。家族会役員12名とRC会員11名の参加を頂き無事新旧役員の引き継ぎが終わりました。
- ・6/12 地区 米山記念奨学会の総会及び懇親会が前橋商工会議所にて開催され、当クラブより大友地区委

米山記念奨学生 奨学金授与

沈 軼驊 君



青少年交換学生 援助金授与

ルーカス・
ウェブスター君

幹事報告

- ・夢未来南三陸まちづくり事業部より「一燈」が届いております。
- ・桐生市社会を明るくする運動推進委員会より、市民大会のご案内が届いております。
- ・ファッションタウン桐生推進協議会・第 20 回定時総会終了のご報告が届いております。
- ・桐生西、桐生赤城RCより週報到着。
- ・次週20日(月)は、たつ吉にて夜間例会です。
18時30分点鐘となりますので、お間違えのないようお気を付け下さい。

委員会報告 出席委員会

本日の出席(平成 28 年 6 月 13 日)

総員 70 名:出席 41 名

5 月 30 日例会 修正出席率:73.01%

ニコボックス

桐生赤城 RC 清水洋君…いつもお世話になっております。残すところあと1月と少しとなりました。どうぞよろしくお願ひ致します／水越稔幸君…朝日新聞・大道桐生支局長をお迎へして。堀会長桐生倶楽部での最後の例会です!!万感思いを込めて終了のゴングを大きく鳴らしてください!!／大友一之君…新しい米山奨学生の沈君をお迎へして、皆さんよろしくお願ひします。北川先生に娘のコンタクトレンズでお世話になりました、ありがとうございました。ルーカス君の飯塚会員宅滞在ももう少しです、飯塚さんありがとうございました、高橋さん引き続きよろしくお願ひいたします／朝倉剛太郎君…大道様をお迎へして／柳明彦君…清水カウンセラー、一年間お疲れ様でした／金子篤郎君…出席 100%／新井智二君…誕生祝。

卓 話



「メディア雑感」

朝日新聞 桐生支局長
大道 裕宣 様

昨今、大変ご迷惑をおかけしてごめんなさい・・・朝日新聞は慰安婦問題で信頼を失墜しました。その末端にいる私に話をする機会を作っていただいた、桐生RCの懐の深さに感謝いたします。

さて、でもどうしてこのようなことになってしまったのでしょうか？

15年程前のことです。その日私は、朝日新聞OBと酒を飲んでいました。なぜか、話が新聞の未来に及び、私はこんな話をしました。

メディアに限らず、あらゆるものは世の中で必要とされるので存在します。メディアに求められる機能が何かはここでは触れませんが、その求められる機能と部数とは関係があるはずで

す。欧米でクオリティ・ペーパーと呼ばれている新聞と人口の関係を見ますと、ほとんどの国で人口の約1%に達していません。これを日本の 1.2 億の人口に当てはめると 120 万部となりますが、朝日新聞は当時、800 万部を超えていました。

これはバブルだ。私はそう言いました。将来的に欧米並みの部数、つまり 100 万部以下、日本人の活字好きを見込んでも、せいぜい 200 万部での経営が求められると話したのですが、全く理解すらしてもらえませんでした。

朝日新聞は良い新聞と言われ、私が入社した昭和 49 年当時、4～5000 人が入社試験を受け、記者としての合格は 23 人、実に狭き門でした。今だに私が何で受かったのか解りませんが・・・。いずれにしろ、朝日新聞は日本の知性の集まりと言われていました。その朝日の先輩の認識がその程度の認識、理解力しか持ち合わせていなかったのです。

新聞社では記者は社内のエリートです。社長を始め経営陣は9割が記者出身です。記者は、仕事をしてお金を稼いだことがありません。記事を書いて杵を稼ぐ記者は軽蔑されます。

その記者が50代で役員、経営者になります。全く経営の経験のない人が、それから会社を経営していくことになります。経営の素人が突然経営する立場につく。「危ない!」。そう考えるのが常識です。

これが通用したのは、戦後の国民が活字に飢えていたことに加え、核家族化が急速に進んで部数は右肩上がりに伸びました。誰がやっても朝日新聞の経営は安泰でした。

これが止まったのが50年代半ばです。核家族化が一段落し、新聞部数が減り始めます。ネットの普及もあって減る速度に加速度がつき、朝日の場合、おまけに慰安婦事件がありました。

朝日も経営は悪化しています。しかし、素人がトップに座る会社なので、経費を削ることくらいしか知恵がありません。新聞の読者は、すでに60代以上がほとんどになっています。新聞はこれからどうするのでしょうか？ どうなるのでしょうか？

国民の大多数が、新聞はいらないと考えれば、新聞はなくなります。それはそれで仕方がないことだと思います。だが、なのです。いまニュースと言われるものの7~8割は新聞がつくっています。つまり、新聞記者がこれがニュースだと判断しない限り、ニュースは生まれません。

「いいよ、ネットがあるから」。でも、2チャンネルのようなネットの書込だけが流通する世の中は正常でいられるでしょうか？

我々はメディアのない世界の入口に立っているのかもしれない。「それは困る」と言っても、お金で支えてくれる人々がいなければ新聞は発行できないのです。

ニュースはプロの記者が作る。それが求められるのなら、プロの記者の暮らしがたつ経済的な仕組みが必要です。その仕組みが、まだ世の中に生まれていません。

地元を覗くと、桐生タイムスがあります。質も高く、素晴らしい新聞です。たった12万人の人口でこの新聞を支えてきた桐生の人たちに敬意すら覚えます。

しかし、光があれば影ができます。その影とは何か？ 桐生タイムスが素晴らしいがゆえに、桐生の人たちの発想が、桐生タイムスの発行エリアに止まっていないか？ 桐生タイムスに取り上げられれば情報発信は完成した、と安心してはいないか？ 桐生の外には広い世界があります。桐生タイムに掲載されても、外の世界には知ってもらえないことを忘れ

てはいないか？ だから、なかなか全国区になれないのではないか？

桐生は実にもったいない街だと思います。

私は大牟田の出身です。この町は石炭で栄え、石炭の衰退とともに駄目になりました。それに比べれば、桐生には織物を中核とした技術がたくさん残っています。活用の仕方さえ間違えなければ、まだまだ可能性は大きいと思います。しかし、このまま放っておいたらこれらはなくなります。なくなったらこのまちは何を梃子に再建するのでしょうか？

繊維の町、かつて買い継ぎさんが外へ向けた窓口として、街の産業に必要な情報の受発信機能を担いました。機屋さんは買い継ぎさんに頼って織物を織ってた。このシステムが崩れ、経営の根幹である情報の取り扱い経験のない方々が経営を担うようになった。それが今につながっている。間違っているかもしれませんが、私の目にはそう映っています。

このまま行くと、桐生はジジババタウンになります。立て直すのは役所ではありません。ロータリーの皆様のような経営者の才覚、努力、どれだけ汗を流せるかにかかっています。

再生の第一歩は、桐生に職場を作ること、若い人の生活の基盤を作ることです。桐生にいたい若者が、いられなくて町を去ってしまうのが桐生の衰退の最大の原因だと思います。

地場の企業に、一人でも多くの雇用を生む努力をお願いしたい。人口減少を止めて、桐生をもう一度日の当たる町にしていきたい。役所が先頭に立ったまちづくりは全国で失敗しています。経営感覚のある人、自分でリスクを背負って智恵を出す人が町を立て直します。それはみなさんです。

かつて桐生には、400人の芸者さんがいたと聞きました。私が桐生にいる間に、せめて10人の芸者さんがいる町に、RCの皆さんの努力でしていただきたいをお願いします。

ご静聴ありがとうございました。